

※平成31年以降の表記は、新元号に読み替えることとする。

事業番号 新32 - 0002

平成31年度行政事業レビューシート (警察庁)										
事業名	高齢運転者対策の更なる強化・合理化等に関する調査研究			担当部局庁	交通局			作成責任者		
事業開始年度	平成32年度	事業終了(予定)年度	平成32年度	担当課室	運転免許課			運転免許課長 日下 真一		
会計区分	一般会計									
根拠法令 (具体的な条項も記載)	道路交通法第91条、第101条の4第1項、第2項、第108条の2第1項第12号			関係する計画、通知等	「高齢運転者による交通事故防止対策について」(平成29年7月7日交通対策本部決定) 「未就学児等及び高齢運転者の交通安全緊急対策」(令和元年6月18日「昨今の事故情勢を踏まえた交通安全対策に関する関係閣僚会議」決定)等					
主要政策・施策	交通安全対策			主要経費	その他の事項経費					
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	平成29年7月の交通対策本部決定において、「80歳以上の運転リスクが特に高い者への実車試験の導入や「安全運転サポート車」限定免許の導入といった高齢者の特性等に応じたきめ細かな対策の強化に向けた運転免許制度の更なる見直し」について速やかに検討することとされた。 また、令和元年6月「昨今の事故情勢を踏まえた交通安全対策に関する関係閣僚会議」決定において、安全運転支援機能を有する自動車を前提として高齢者が運転できる免許制度の創設に向け、普及方策等について関係省庁が連携して検討を行うこととされている。 これらを踏まえ、調査研究を行い、高齢者の免許制度の在り方について検討し、高齢運転者による交通事故の防止を図る。									
事業概要 (5行程度以内。別添可)	高齢運転者対策の更なる強化・合理化を図る観点から、老年精神医学、人間工学、自動車工学等の分野の知見を有する大学教授・医師、認知機能検査・高齢者講習制度の主要な実施主体である指定自動車教習所の関係者から成る会議を定期的に開催し、構成員からの意見を踏まえた調査研究を進め、実車運転による運転能力のチェック基準の策定等、安全運転サポート車(自動車先進安全技術)の現状に関する実態調査等及び認知機能検査の合理化検討を実施するもの。									
実施方法	委託・請負									
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	当初予算	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度要求			
		補正予算	-	-	-	-	-			
		前年度から繰越し	-	-	-	-	-			
		翌年度へ繰越し	-	-	-	-	-			
		予備費等	-	-	-	-	-			
		計	0	0	0	0	0	27		
	執行額	0	0	0						
	執行率(%)	-	-	-						
	当初予算+補正予算に対する執行額の割合(%)	-	-	-						
	平成31・32年度 予算内訳 (単位:百万円)	歳出予算目	31年度当初予算	32年度要求	主な増減理由					
警察装備費		-	27							
その他		#VALUE!	0							
計		-	27							
成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標		単位	28年度	29年度	30年度	中間目標 年度	目標最終年度 32年度	
	高齢運転者対策の更なる強化・合理化等に関する調査の結果を調査研究報告書にまとめる。	調査研究報告書の作成	成果実績	式	-	-	-	-	-	
			目標値	式	-	-	-	-	1	
			達成度	%	-	-	-	-	-	
根拠として用いた統計・データ名 (出典)										
定量的な成果目標の設定が困難な場合	定量的な目標が設定できない理由及び定性的な成果目標	定量的な目標が設定できない理由			定性的な成果目標と28~30年度の達成状況・実績					
	事業の妥当性を検証するための代替的な達成目標及び実績	代替目標	代替指標		単位	28年度	29年度	30年度	中間目標 年度	目標最終年度 年度
				実績	-	-	-	-	-	
				目標値	-	-	-	-	-	
				達成度	%	-	-	-	-	

活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	28年度	29年度	30年度	31年度 活動見込	32年度 活動見込	
	活動実績	当初見込み							
	実車試験の導入の可否や高齢運転者の運転能力に応じた限定条件付免許の導入の可否等に関する調査研究を行い、調査研究報告書を作成。		-	-	-	-	-	-	
			-	-	-	-	-	1	
単位当たりコスト	算出根拠		単位	28年度	29年度	30年度	31年度活動見込		
							百万円	-	-
			計算式	/	-	-	-	-	
政策評価、新経済・財政再生計画との関係	政策	4 安全かつ快適な交通の確保							
	施策	2 運転者対策の推進							
	測定指標	定量的指標		単位	28年度	29年度	30年度	中間目標 年度	目標年度 32年度
		70歳以上の高齢運転者による交通死亡事故件数 ※実績値、目標値については、暦年による数値	実績値	件	667	629	709	-	-
			目標値	件	686	686	686	-	686
	本事業の成果と上位施策・測定指標との関係								
	高齢運転者の交通事故防止対策に関する調査研究報告書の内容を踏まえ、運転免許制度の改正を実施することで、高齢運転者による交通事故の防止を図ることにより、上位施策である運転者対策を推進する。								
	取組事項	分野:	-						
	(第一階層) KPI	KPI (第一階層)		単位	計画開始時 年度	30年度	31年度	中間目標 年度	目標最終年度 年度
				成果実績	-	-	-	-	-
		目標値	-	-	-	-	-		
		達成度	%	-	-	-	-		
(第二階層) KPI	KPI (第二階層)		単位	計画開始時 年度	30年度	31年度	中間目標 年度	目標最終年度 年度	
			成果実績	-	-	-	-	-	
			目標値	-	-	-	-	-	
			達成度	%	-	-	-	-	
本事業の成果と取組事項・KPIとの関係									
-									

事業所管部局による点検・改善

項目		評価	評価に関する説明				
国 費 投 入 の 必 要 性	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。	○	閣議決定等に基づき、実施するため、社会的ニーズが高い。				
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。	○	閣議決定等に基づき国の制度の見直しを図るものであり、国が予算措置を講じる必要がある。				
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。	○	閣議決定等に基づき実施するものであり、優先度が高い。				
事 業 の 効 率 性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。	-					
	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td>一般競争契約、指名競争契約又は随意契約(企画競争)による支出のうち、一者応札又は一者応募となったものはないか。</td> <td></td> </tr> <tr> <td>競争性のない随意契約となったものはないか。</td> <td></td> </tr> </table>	一般競争契約、指名競争契約又は随意契約(企画競争)による支出のうち、一者応札又は一者応募となったものはないか。		競争性のない随意契約となったものはないか。		-	
	一般競争契約、指名競争契約又は随意契約(企画競争)による支出のうち、一者応札又は一者応募となったものはないか。						
	競争性のない随意契約となったものはないか。						
	受益者との負担関係は妥当であるか。	-					
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。	-					
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	-					
	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	-					
不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	-						
繰越額が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	-						
その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか。	-						
事 業 の 有 効 性	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか。	-					
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。	-					
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	-					
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	-					
関 連 事 業	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)						
	所管府省名	事業番号	事業名				
点 検 ・ 改 善 結 果	点検結果	閣議決定等を踏まえ、実車試験の導入や限定条件付免許の導入の可否等について検討するなど、高齢運転者の事故防止対策の更なる推進に資する調査研究である。					
	改善の方向性						
外部有識者の所見							
点検対象外							
行政事業レビュー推進チームの所見							
現状通り	要求に当たって検討すべき事項について、適切に検討がなされている。						
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況							
現状通り	特になし。						
備考							

